

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

青森県 南部町

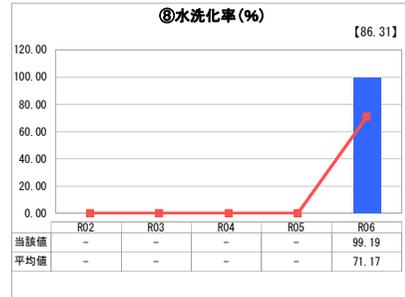
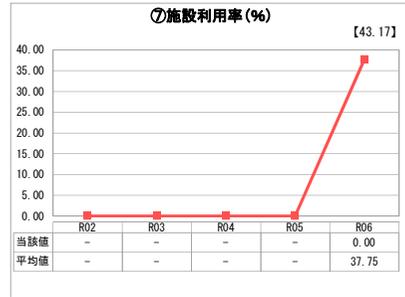
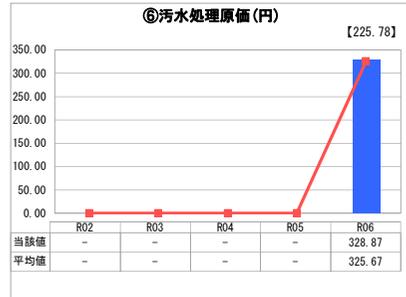
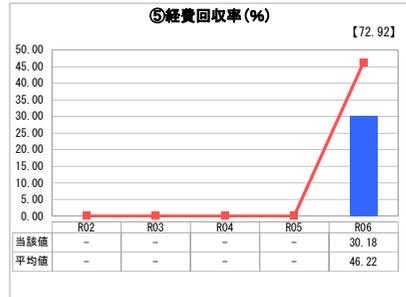
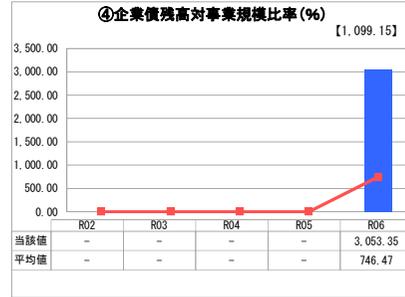
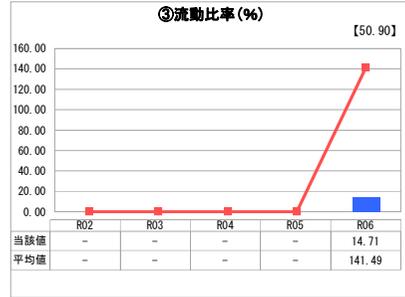
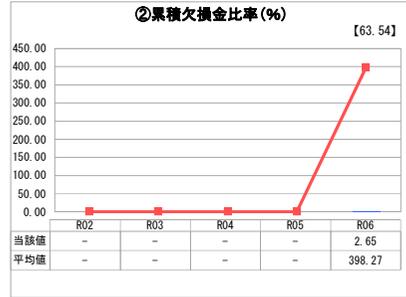
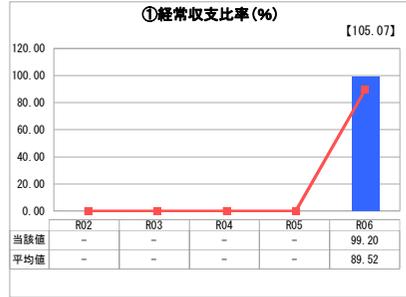
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	56.32	8.47	100.00	1,730

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
16,185	153.12	105.70
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,359	0.33	4,118.18

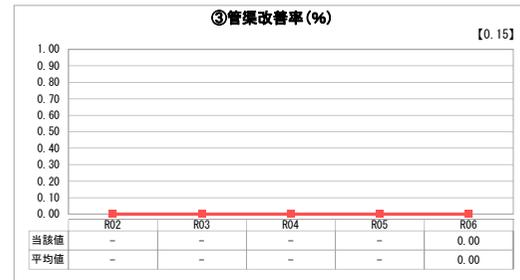
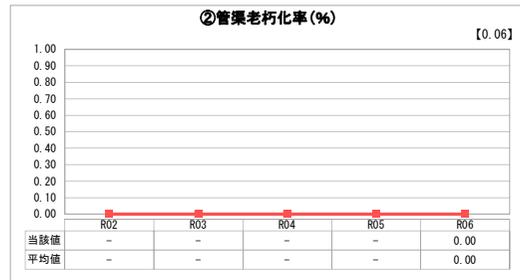
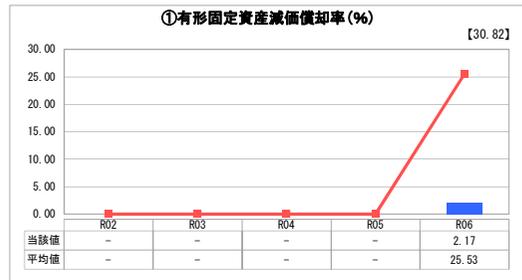
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

昭和47年に民間事業者が設置し供用開始したが、昭和48年に本町へ寄付され、維持管理運営をするようになった。  
寄付を受けてから50年以上が経過しており、老朽化により平成30年に特定環境保全公共下水道事業として位置付け、現在、建設事業継続中であるが、資材不足や輸送費の上昇により、当初計画を大幅に上回る事業費が必要となった。  
収益的収支比率については前年度よりも減少し、経費回収率、汚水処理原価、水洗化率については、全国平均や類似団体平均と比較しても悪化傾向となった。今後は、終末処理場建設事業費による企業債および他会計繰入金の増加が想定されるため、下水道使用料金増額の検討、適正な維持管理運営による汚水処理原価の抑制、施設利用率の向上を目標に長期的に収支の均衡を図っていくことが求められる。

### 2. 老朽化の状況について

管渠改善率については、現在低い水準である。しかし、管渠については標準耐用年数を超えているため、令和4年度から更新事業を実施しており順次更新する予定である。  
管渠改善率は今後上昇する見込みである。  
また、老朽化している現終末処理場については、令和8年供用開始に向け新たな水処理施設および汚泥処理施設を建設中である。  
今後は、管渠については、ストックマネジメント計画による効率的な調査点検、経済的な管更正工法の選定、適正な維持管理が必要である。

### 全体総括

供用開始から50年以上経過しており、新しい建設事業を継続中であるため、企業債および他会計繰入金の依存度が高くなっている。  
今後は、下水道使用料金増額の検討、ストックマネジメント計画による効率的な調査点検および管更正工法、適正な維持管理運営、徹底した経費削減等の合理化により、平均値を下回らないよう努め、資産や収支の状況をより精緻な数値で把握して健全で効率的な事業経営に努める必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみを類似団体平均値及び全国平均を算出しています。